

除雪機の作動時には細心の注意を！

デッドマンクラッチ（安全装置）の無効化による事故が発生！

消費者安全調査委員会から、平成29年11月から平成30年3月までの期間に歩行型ロータリ除雪機（以下、単に「除雪機」という。）による事故が11道県で90件発生し、そのうち死亡事故が8件、重傷事故が46件発生しているとの事故情報がありました。

そのため、消費者庁では、除雪機による事故を防止するため、注意点をまとめましたので、下記のとおり除雪機の取扱いに十分注意してください。

1. 定期点検を行う。特に安全装置が正常に動作するか確認する。
2. デッドマンクラッチをひもで縛る等、固定して使用しない。
3. エンジンをかけたまま、投雪口に手を突っ込まない。
4. 除雪中だけでなく、移動中や収納中にも気を付ける。特に、後進時はより注意。

※デッドマンクラッチ（ハンドルのクラッチレバーから手を離すと除雪機が停止する装置）

関連ホームページ：消費者庁公表資料

除雪機の作動時には細心の注意について

歩行型除雪機のデッドマンクラッチについて

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_019/

問い合わせ

消防本部予防課保安係

電話：53-4121